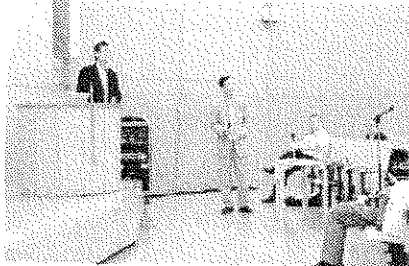


◆科学技術振興機構◆

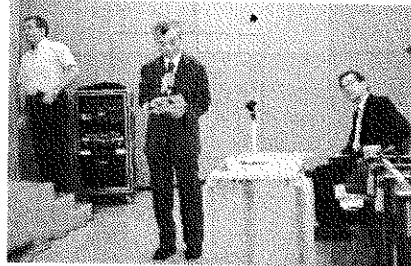
光科学光技術合同シンポジウム「進化する光イメージング技術」



開会挨拶の増原台湾交通大学教授



左から加藤学長、増原・宗片各教授



挨拶する伊藤阪大特任教授Ⓞ

科学技術振興機構（JST）は6月27日、文京区弥生の東京大学一条ホールで、CREST・さががけ光科学光技術合同シンポジウム「進化する光イメージング技術」百問はイメージングに如かずⅡ」を開催した。

第1回に続いて同じテーマ。光イメージング技術は、今では顕微鏡像のイメージングだけでなく、光の可視性を最大限に利用して、物質・材料のさまざまな性質や現象をとらえ、可視化できる時代になった。今回のシンポジウムでは、CREST・さががけのそれぞれの研究だけでなく、これらと連携する光拠点活動からの報告も含めて、各研究者からイメージング技術の醍醐味が紹介された。

当日は、増原宏・台湾国立交通大学教授の開会挨拶の後、加藤義章・光産業創成大学院大学長、宗片比呂夫・東工大教授らの講演の後、最後に伊藤正・阪大特任教授が開会挨拶